

高松学習館運営協議会（令和6年1月）会議録概要

開催日時 令和6年1月24日（水曜日）午前9時30分～11時

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

山口聡子（青少年健全育成曙町地区委員会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

師岡寛（自治会連合会高松町支部）

橋本登（たちかわ市民交流大学市民推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

難波敦子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席2名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ おはようございます。自治会連合会高松町支部の支部長の師岡さんが新しく委員となりました。服部委員が本日欠席のため児童館職員の森田さんが参加くださっている。
2. 辞令の伝達 榛澤係長より師岡委員に辞令の伝達があった。自己紹介があった。
3. 報告事項
 - ・事務局より下記について報告があった。
 - ・新春たかまつ落語会(1/20 実施)について
雨模様の中 45名の来場者があり和気藹々とした雰囲気の中に実施された。親子連れの参加者が例年より多く見受けられた。地元の小学生の木下亭にゃんこさんが上手な落語を披露された。アンケート結果も好評だった。当日スタッフ(司会、受付)の委員より感想が述べられた。小学生の出演者がとても素晴らしかった。例年より子どもの参加が目立っていて南京玉すだれに積極的に参加し会場を盛り上げた。プログラムの最後の女性落語家の噺が特に面白かった。楽しい時間を過ごせた。
 - ・高松寿教室「新年のつどい」(1/12 実施)について
会員 42名の参加があり、寿民謡の講師の三味線で懐メロを全員で歌った。以前は競輪場集合棟の大広間で実施していたが、コロナ禍は中止や短縮しての実施だった。今年度は学習館で久しぶりに集まっての楽しい交流ができた。
 - ・その他
 - ・市民リーダーみんなの講座「ジャンルを問わない絵画上達法」(1/10・

1/31)開催。多世代の参加がある。

- ・ 学習館備品について 電子ピアノとプロジェクターは今年度中に新規購入予定。施設面では今のところ雨漏りや空調トラブルなどはない。

4. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・ 地域活性化事業について

今後実施の事業について確認した。3/2「誰でもコンサート」当日お手伝い可能な委員を確認した。受付：結城委員(1部・2部)
来年度の文化祭日程について説明があった。

- ・ 東京学芸大学との共催事業(クリスマスたかまつり 12/10 実施)について
学生さん作成の報告書を確認した。概ね上手くできたが、段取りの面でリハーサル、シミュレーションをすれば良かったという課題点が挙げられている。来年度実施の方向性について協議した。
 - ・ 市民リーダーさんとのうち合わせをもっとすべきという点があった。
 - ・ ある程度流れを決めた上で学生さん達とうち合わせをすべきと思った。
 - ・ 毎年新しいメンバーと会うという準備が必要。授業の一環ということでもどこまでお任せすべきか手探り状態で遠慮があった。次回からは学習館側の気持ちをきちんと伝えていくことが必要だと思った。
 - ・ 主催は学習館でイニシアチブも責任も学習館が負っている。遠慮という形ではなく、「たかまつり」は今迄こういう形で実施してきていると伝えて理解してもらっていくことが大事。学生側は頼まれて実施するとか、お互いに遠慮するのではなく、改めて原点に戻ってつながりを求めていくようにする。お互いに共通な理解を共有した上で学生さんの新しいアイデアを尊重しながら進めていく。学生さん、市民リーダーも入って情報交換をしていく。学生さんがのびのび実施できることと情報交換をしてコラボレーションしていくのが共催ということだと思う。
学生さんにとっては社会実習の授業の一環としての体験。ぶれないように受け入れ側の学習館が趣旨をきちんと示していくことが大事。毎年新しいゼミのメンバーに入れ替るため毎回ゼロからのスタートとなる。学生の中で経験者がいれば上手くつながる面がある。よい形にしていけるように確認を取ると思う。
 - ・ 市民リーダー、学生、学習館の間で共通認識をしていけるようにする。
 - ・ 学生さんに提案する前に企画内容案と講師を決めて準備するか、今後検討していきたい。

- ・ 2月交流会について

当日の次第案、タイムテーブル、会の進め方について協議した。参加人数、意見交換のグループ分けについて確認した。テーマは「学習館事業における地域人材の活用について」ということで、神山先生に道標としてプレゼンテーションしていただく。よい事例があれば紹介していただき、その後

にテーマに沿って交流会として自由に楽しく意見交換してもらおう。各グループの記録や発表はしない形で行う。1グループ5～6名で2回目のグループ分けはくじ引きで決定する。

毎年実施する会であるなら、センターでも趣旨をよく掘り下げて代表者会議でよく情報交換をしていくことが大事。同じようなメンバーの顔合わせではなく、先ず一つの大きな柱、趣旨(グランドデザイン)があって、趣旨を外れない程度の担当館のアクションプログラムの提案で多くの委員が参加しやすいようにしていくことが大事だと思う。

交流会当日は午後2時までに市役所の会場に集合する。

- ・ 会議の開催時間帯について

各委員の希望を聞いて地域の他の会議日程などと調整し検討した結果、来月より開催する曜日と時間帯を変更することになった。

(3) その他

- ・ 次回の開催日について確認した。
- ・ 生涯学習関係職員研修会：令和6年2月2日（金）午後2時～4時
会場は柴崎学習館 参加予定者：梅田会長、吉田委員、橋本委員

5. 地域課題共有 各委員より所属団体の活動について報告があった。

- ・ 曙町文化祭について 芸能(2/25)と展示(2/21～2/25)をAIMで実施する。
- ・ 社会福祉協議会より まちねっと2月号発行。今月19日、22日に能登地震の街頭募金を行った。

以上